

2021 年度 事業計画書

2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

I	2021 年度事業計画 事業の体系図	1
II	2021 年度事業計画一覧	2

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団



事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
公1 絵本美術館の設置運営				
ア 絵本等に関する展覧会、講演会、ギャラリートーク等の開催				
■ちひろ美術館・東京での展覧会、講演会、ギャラリートーク等				
【いわさきちひろ展】	ちひろ・子どもは未来	ちひろは未来を生きる子どもたちに大きな可能性を感じ、絵を通して子どもがいる平和な日常の尊さを、私たちにうたえかけている。ちひろの絵とことばを通して、時代が変わっても変わらない大切なものや豊かさについて見つめ直す。	3月16日～6月13日	ちひろ美術館・東京
	ちひろの花鳥風月	日本では古来より「花鳥風月」を重要なテーマとしてきたが、みずみずしい感性で自然をとらえたちひろの絵のなかにも、日本的な美意識は脈々と受け継がれている。本展では、四季のなかで遊ぶ子どもを描いた代表作や絵本『あめのひのおるすばん』を展示し、自然をいつくしむ感性や構図にみられる表現など、日本の伝統的な美術との接点を探る。	6月19日～9月26日	ちひろ美術館・東京
	ちひろの歩み-童画から絵本へ-	ちひろが子どもの本の出版美術の世界で活躍した1940年代後半から1970年代は、子どもの本の画家たちの目指す絵が、童画から絵本のための絵へと大きく転換した時期にあたる。紙芝居や絵雑誌、童話集などを描いた「童画家」時代の作品から、多くの絵本を手がけるようになった「絵本画家」としての作品まで、ちひろの画業をたどる。	10月2日～2022年1月16日	ちひろ美術館・東京
	ピエゾグラフによる わたしの好きなちひろ展	没後47年経った今も人々の心に残るちひろの絵。特設サイト、チラシ、SNS等で、「好きなこの1点」をメッセージとともに募集する参加型の展覧会を、東京・安曇野で同時開催する。人々がちひろの絵に寄せるそれぞれの思いから、その絵の魅力を改めてとらえなおす本展は、ちひろ美術館が2004年から取り組んできたいわさきちひろ作品のアーカイブから生まれた高精彩の複製画「ピエゾグラフ」で展覧会を構成する。	10月2日～2022年1月16日	ちひろ美術館・東京
【企画展示】	<企画展> 没後1年 田畑精一『おいしいのぼうけん』展	『おいしいのぼうけん』は、それまでにない、作家と画家と編集者が三位一体で絵本づくりに取り組んだ意欲作で、1974年の刊行以来230万部を超えるミリオンセラーになっている。本展では、2020年に89歳で亡くなった田畑精一の画業を偲び、『おいしいのぼうけん』の絵本づくりとその魅力とともに、自伝的な絵本である『さくら』(日・中・韓平和絵本)を展示し、その人生と思いを紹介する。	3月16日～6月13日	ちひろ美術館・東京
	<企画展> 生誕111年 赤羽末吉展 日本美術へのとびら	日本の伝統的な美術の美しさを子どもに伝えたいと、墨絵や大和絵、物語絵の源流である絵巻物や奈良絵本、丹緑本などを研究して、自在に絵本の表現に取り入れた赤羽末吉。日本美術の入口としての視点から、赤羽末吉の絵本の絵画表現を紹介する。	6月19日～9月26日	ちひろ美術館・東京
【講演会】	「田畑精一展」関連 酒井京子講演会「田畑精一さんの絵本づくり」	『おいしいのぼうけん』を編集した酒井京子が、古田足日、田畑精一との三位一体での絵本づくりや、田畑作品の魅力について語る。(オンラインでの開催)	4月25日	ちひろ美術館・東京
	「赤羽末吉展」関連講演会	赤羽末吉の三男である赤羽研三や、その妻で赤羽末吉の評伝を執筆した赤羽茂乃、赤羽の絵本の編集者らの講演を開催する。(含むオンラインでの開催)	会期中	ちひろ美術館・東京
【ギャラリートーク】	松本猛ギャラリートーク	いわさきちひろのひとり息子・松本猛が、母の思い出や作品にまつわるエピソード、展示の見どころなどを語る。(含むオンラインでの開催)	12月中旬	ちひろ美術館・東京
	夏休み子どもギャラリートーク	夏休み期間中、小・中学生を対象としたギャラリートークを行う。	夏休み期間中	ちひろ美術館・東京
	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の各展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説する。(含むオンラインでの開催)	毎月第1、3土曜日	ちひろ美術館・東京
■安曇野ちひろ美術館での展覧会、講演会、ギャラリートーク等				
【いわさきちひろ展】	ちひろ・子どもとあそび	遊びは一見意味のない行為のようにも見えながら、子どもにとって心身の発達に重要な役割をもつといわれ、遊びによって生活も人生も豊かなものとなる。本展では、近年発見されたかたるたのための作品(ちひろ美術館初公開)や、ちひろが描いた子どもと遊びの作品などを展示する。	3月1日～5月30日	安曇野ちひろ美術館
	トットちゃん広場5周年 『窓ぎわのトットちゃん』展	1981年に発売されて以来、ベストセラーとなり、今も世界中で読み継がれている『窓ぎわのトットちゃん』。2021年は、同書が刊行されてから40周年に、また、安曇野ちひろ公園「トットちゃん広場」のオープン5周年に当たる。子どもを取り巻く状況が大きく変わろうとしている今、あらためて『窓ぎわのトットちゃん』の魅力を紹介し、次の世代に語り継ぐ機会とする。	6月5日～9月5日	安曇野ちひろ美術館
	ピエゾグラフによる わたしの好きなちひろ展	没後47年経った今も人々の心に残るちひろの絵。特設サイト、チラシ、SNS等で、「好きなこの1点」をメッセージとともに募集する参加型の展覧会を、東京・安曇野で同時開催する。人々がちひろの絵に寄せるそれぞれの思いから、その絵の魅力を改めてとらえなおす本展は、ちひろ美術館が2004年から取り組んできたいわさきちひろ作品のアーカイブから生まれた高精彩の複製画「ピエゾグラフ」で展覧会を構成する。	9月11日～11月30日	安曇野ちひろ美術館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
【いわさきちひろ展】	ちひろの人生	ゆかりの品々や素描・スケッチをはじめ、影響を受けた画家の作品等を展示するとともに、ちひろの人生を紹介するパネルや生前を知る人たちの証言映像、ちひろの技法を拡大して見られるタッチパネル等により、ちひろの絵と人生、その人柄とともにその技法の秘密を伝える。	通年	安曇野ちひろ美術館
	ちひろの仕事場の四季(春・夏・秋)	遺品・資料のアーカイブの成果を活かし、ちひろの人となりや伝わる愛用の品々を、ちひろ展や季節に合わせたテーマで紹介する。	通年	安曇野ちひろ美術館
	子どもの展示室「トットちゃんの部屋」	『窓ぎわのトットちゃん』に登場する電車の教室の一部再現や、ちひろの絵で楽しむトットちゃんの世界、トモエ学園の紹介など、トットちゃんの世界を子どもたちの目線で楽しむことのできる展示を行う。	通年	安曇野ちひろ美術館
【世界の絵本画家コレクションの展示】	ちひろ美術館コレクションに見る 雪・月・風・花	コレクションのなかから世界の絵本画家たちが自然を描いた作品を、雪・月・風・花のテーマごとに紹介する。	3月1日～5月30日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション 子どもの時間	コレクションのなかから世界の画家たちの絵本に描かれた、「子どもの時間」を紹介する。	6月5日～9月5日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション 絵本で世界を旅しよう！	コロナ禍で移動が制限される今、世界のさまざまな場所の文化や生活に想いを巡らせ、楽しめる作品を展示する。	9月11日～11月30日	安曇野ちひろ美術館
【絵本の歴史展示】	絵本の歴史	「死者の書」や時禱書、絵巻物から20世紀初頭の絵本にいたるまで、絵本とイラストレーションの歴史に関わる作品・資料を、「手描き本の時代」「版本の時代」「子どもの本の時代(印刷本)」の3つの時代に分けて、紹介する。	通年	安曇野ちひろ美術館
【企画展示】	<企画展> 生誕111年 赤羽末吉展 絵本への一本道	赤羽末吉は1961年、50歳のときに『かさじぞう』を出版して以来、『スーホの白い馬』など今も読み継がれる数多くの絵本を発表し、日本で最初に国際アンデルセン賞画家賞を受賞した。本展では旧満州(中国東北部)で日本画家として活躍した時代にまでさかのぼり、赤羽がたどった絵本画家への道を数々の資料や絵本からひも解いていく。	3月1日～5月30日	安曇野ちひろ美術館
	<企画展> 現代の町絵師 笑いと反骨の画家 田島征彦展	田島征彦の絵本処女作であり、プラチスラヴァ世界絵本原画展(通称BIB)で金牌を受賞した『祇園祭』に焦点をあて、原画全点とともに資料や型絵染の型紙、その後に発表した大きな布に染め抜かれた祇園祭をテーマにした作品等を展示するほか、『じごくのそうべえ』なども展示し、田島が表現しつづけている人々のユーモアと反骨の精神のあらわれた作品を紹介する。	6月5日～9月5日	安曇野ちひろ美術館
	<企画展> 没後1年 田畑精一『おいしいのぼうけん』展(仮)	『おいしいのぼうけん』は、それまでにない、作家と画家と編集者が三位一体で絵本づくりに取り組んだ意欲作で、1974年の刊行以来230万部を超えるミリオンセラーになっている。本展では、2020年に89歳で亡くなった田畑精一の画業を偲び、『おいしいのぼうけん』の絵本づくりとその魅力とともに、自伝的な絵本である『さくら』(日・中・韓平和絵本)を展示し、その人生と想いを紹介する。	9月11日～11月30日	安曇野ちひろ美術館
【講演会】	「赤羽末吉展」関連 赤羽茂乃講演会「赤羽末吉の人生と絵本—大陸と雪国」	赤羽末吉の研究者で『絵本画家 赤羽末吉 スーホの草原にかける虹』の著者である赤羽茂乃が、家族ならではのエピソードも交えながら、赤羽末吉の絵本と仕事、生涯を語る。(含むオンライン配信)	4月11日	安曇野ちひろ美術館
	「田島征彦展」関連 アーティストトークと読み語り	作家本人が展示されている作品について語り、人気の自作絵本を「読み語り」する。(松川村図書館と共催)	6月5日	松川村 ずずの音ホール
【ギャラリートーク】	松本猛ギャラリートーク	ちひろのひとり息子・松本猛が、母の思い出や作品にまつわるエピソード、展示の見どころなどを語る。(含むオンラインでの開催)	8月上旬	安曇野ちひろ美術館
	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の各展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説する。(含むオンラインでの開催)	毎月第2、4土曜日	安曇野ちひろ美術館
■他館と提携する展覧会、講演会、ギャラリートーク等				
【展覧会】	いわさきちひろ展	いわさきちひろの芸術を広く紹介するべく、初期の油彩画やドローイング、スケッチや素描、雑誌や単行本に掲載された挿し絵、絵本やカレンダーの原画など多岐にわたる作品を多数展示する。また、その作品の魅力の源となった、にじみや余白の効果をも巧みに操ったちひろの水彩技法にも注目して紹介する。	7月24日～8月29日	茨城県近代美術館(茨城県水戸市)
	ピエゾグラフ作品によるいわさきちひろ展	ピエゾグラフによるいわさきちひろ展を、開催希望自治体、団体、施設と協力して行う。	通年	「ちひろの生まれた家」記念館(福井県越前市)
	ピエゾグラフによるコレクション展	ちひろ美術館コレクションのなかから、いわさきちひろをはじめ、茂田井武、赤羽末吉、長新太、荒井良二、出久根育等、戦後から今日までの日本の絵本画家たちの作品をピエゾグラフで展示する。また大正期から昭和初期に活躍した岡本帰一、清水良雄等のピエゾグラフ作品も、当時の絵雑誌などの資料と共に紹介する。	2022年1～3月	しもだて美術館(茨城県筑西市)

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
【展覧会】	生誕111年 赤羽末吉展 スーホの草原にかける虹	『スーホの白い馬』を中心に、赤羽末吉の中国とモンゴルの絵本を、ピエゾグラフで展示する。	5月29日～6月30日	教文館ウェンライトホール(東京都中央区)
【ギャラリートーク等】	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク等	開催中の展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説するギャラリートーク、いわさきちひろの水彩技法体験ワークショップ等を開催する。(含むオンラインでの開催)	随時	

イ 絵本等に関する作品・資料の収集・保存、並びに調査・研究

作品・資料の収集	絵本原画、関連資料等の収集	時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本原画の収集を進める。	通年	両館
	絵本と絵本の歴史資料の収集	時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本の資料・絵本の歴史資料の収集を進める。	通年	両館
	絵本、関連書籍等の収集	優れた芸術性を持つ、魅力的な絵本の収集を進める。コレクション画家の手がけた絵本資料の収集を進める。	通年	両館
作品・資料の保存	作品・資料の保存管理	絵本原画を中心とした収蔵作品の適切な保存管理を行なうとともに、画像データベース等での作品整理を進める。	通年	両館
	作品・資料のデジタル・アーカイブス	いわさきちひろと世界の絵本画家の作品・資料のデジタル・アーカイブスを、災害時対応にも備えつつ、進める。	通年	両館
	作品・資料の修復	必要に応じて作品や資料の修復を行う。	随時	両館
作品・資料の調査・研究	コレクション作家等の調査・研究	両館で開催する展示、ならびに他館と提携して行う展覧会において、コレクション作品の表現・技法、作家の人生、芸術観、時代背景等について、調査・研究を行い、調査資料のドキュメンテーションを進める。特に赤羽末吉、田島征彦、田畑精一等の作品について展覧会とあわせて調査を進める。	通年	両館
	作品・資料等のアーカイブス	新しいDBシステムに移行した作品(原画とピエゾグラフ)、図書、遺品など資料のさらなるデータ整備を行い、横断検索やクリップリストなど新しい機能の活用を通して、展示や出版企画等の充実と合理化を進める。機関アーカイブスを登録・活用するための管理システムについて調査する。	3年間	両館
	絵本とイラストレーションの歴史の調査・研究	絵本とイラストレーションの歴史に関する資料の整理、調査・研究を進める。	通年	両館
	絵本等に関する調査・研究	赤羽末吉、田島征彦、田畑精一、新旧の絵本の表現、テーマ、絵本の造形について、外部の研究者とも連携しながら調査・研究を進める。	通年	両館
	研究成果の公開 公式サイトでの作品、展示解説掲載	調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、逐次、公式サイトにアップロードし、国内外にむけて発信していく。	通年	両館
	研究成果、活動成果の公開 「美術館だより」の発行(展示会期ごと)	研究や活動の成果を、展示紹介、活動紹介等にまとめ、展覧会にあわせて発行する「美術館だより」や公式サイトを通じて、公開していく。	通年	両館

ウ 絵本等に関する教育活動

ワークショップ・講座の開催	ワークショップ ちひろの水彩技法体験	ちひろの水彩技法の特徴のひとつである「にじみ」を使って、実際に作品を制作するワークショップを行う。(含むオンラインでの開催) *文化庁令和3年度地域と共働した博物館創造活動支援事業	夏	ちひろ美術館・東京
	親子で楽しむ文化講座 わらべうたあそび	0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象にした、わらべうたあそびの会を開催する(講師:服部雅子・西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰)。(含むオンラインでの開催) *文化庁令和3年度地域と共働した博物館創造活動支援事業	各展覧会会期中1回(年3回)	ちひろ美術館・東京
	あかちゃんのための鑑賞会	0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象にした、あかちゃんのための鑑賞会を開催する(講師:冨田めぐみ・NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表)。(含むオンラインでの開催) *文化庁令和3年度地域と共働した博物館創造活動支援事業	冬	ちひろ美術館・東京
	子どものための鑑賞会	3歳児～小学1年生とその保護者を対象にした、幼児～児童のための鑑賞会を開催する(講師:冨田めぐみ・NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表)。(含むオンラインでの開催) *文化庁令和3年度地域と共働した博物館創造活動支援事業	冬	ちひろ美術館・東京
	子どもの幸せと平和を考える講座 親業講演会「—今日から実践できる— 子どもに気持ちが伝わる話し方」	「親業訓練」を通して、親子のよりよいコミュニケーションを学ぶ(講師:田中満智子・親業訓練協会インストラクター)。(含むオンラインでの開催) *文化庁令和3年度地域と共働した博物館創造活動支援事業	秋	ちひろ美術館・東京
	ワークショップ ちひろの水彩技法体験	ちひろの水彩技法の特徴のひとつである「にじみ」を使って、実際に作品を制作するワークショップを行う。(含むオンラインでの開催)	随時	安曇野ちひろ美術館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
ワークショップ・講座の開催	あかちゃんと保護者のための鑑賞会	「ベビーカーでお出かけしよう！」と題して、乳幼児とその保護者を対象に、子どもといっしょに美術館を楽しめる、ファーストミュージアムデーを、長野県の「いい育児の日」の11月19日を含め、年2回開催し、展示を中心に館内各所での鑑賞会や、絵本の読み合い、ふれあい遊びを行う。(含むオンラインでの開催)	年2回	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション画家によるアトリエトーク	ちひろ美術館が作品を収蔵している世界のコレクション画家のアトリエから、画家自身が作品や制作について語る。(含むオンラインでの開催)	随時	両館
	ちひろ美術館コレクション貴重本紹介	ちひろ美術館で収蔵している貴重本を紹介するとともにその内容や魅力を解説する。(含むオンラインでの開催)	随時	両館
	ちひろの絵による『窓ぎわのトットちゃん』ワークショップ	安曇野ちひろ公園トットちゃん広場と安曇野ちひろ美術館館内において、『窓ぎわのトットちゃん』のさまざまなエピソードを元に、関連したワークショップ等を、地域の人々や地元の学校の協力を得て、開催する。	随時	安曇野ちひろ公園・安曇野ちひろ美術館
	「ちひろ・子どもとあそび」関連ワークショップ	子どもを対象にしたワークショップを行う。(含むオンラインでの開催)	会期中	安曇野ちひろ公園・安曇野ちひろ美術館
	ちひろ忌	ちひろが世を去った8月8日にあわせてギャラリートーク等を行い、ちひろの業績や人生を伝えとともに、世界中の子どものしあわせと平和を願ったちひろの思いを、来館者ともに考える機会とする。(含むオンラインでの開催)	8月8日	両館
学校との提携活動	地元中学校との提携活動—中学生ボランティア	松川中学校と連携し、中学生ボランティアを育成し、来館者を対象にした、当館での体験ワークショップ等の活動を行なう。	6月5日～9月5日	安曇野ちひろ美術館
	出前授業、出前講座	ちひろの画業や絵の魅力を伝え、その技法を体験するワークショップを含めた出前授業、出前講座を、学校等に出向いて実施する。	随時	両館
	スクールミュージアム	長野県内の希望校を対象に、展覧会のつくり方を指導、複製画等の貸し出しを行い、生徒の力で展覧会が開催できるよう生徒キュレーターとして、キャリア教育の機会としてもらう。	随時	安曇野ちひろ美術館
	教員向け内見会・内見週間の開催	教員を対象とする内見会・内見週間を開催、博学連携の活動を行う。	随時	両館
	職場体験実習の受入	練馬区近辺、松川村近辺の中学・高等学校からの職場体験実習を受入れ、美術館業務を体験してもらい、博学連携の活動とする。	随時	両館

エ 絵本等に関する普及活動

絵本等の公開・閲覧	両館での絵本図書室・絵本カフェによる絵本の公開・閲覧	長きに渡って愛され続ける絵本とともに、新刊等幅広い国内外の絵本を、絵本の専門美術館としての視点で選書し、芸術性に優れた魅力的な絵本を配架し、両館の絵本図書室・絵本カフェ等での閲覧に供する。	通年	両館
絵本等の紹介活動	コレクション画家・企画展画家・その他の世界の絵本画家の絵本等の紹介、頒布、レファレンス、読み聞かせ指導、読書指導	当館の視点で選書した国内外の絵本を、絵本図書室、公式サイト等で紹介、普及、頒布するほか、どのような絵本を選べばよいのか、どのように読めばよいのか等々、来館者をはじめ、幅広い求めに応じて、適宜、選書や読み聞かせの方法等についてアドバイスをし、日々の暮らしの中で身近に絵本を楽しめるよう支援していく。	通年	両館
読み聞かせ会	絵本の時間(絵本の読み聞かせ)、絵本の広場等の開催	絵本の理解を深め、展示鑑賞をより充実したものとするため、両館それぞれで、定期的に絵本の読み聞かせ会を開催する。また同様に、学校・保育園等からの団体鑑賞に際して、読み聞かせを行っていく。(含むオンラインでの配信)	随時	両館
	原語のおはなしの会(絵本の読み聞かせ)	コレクション画家の絵本の原語での読み聞かせ会を開催する。また各国の文化や暮らしなどを紹介する。	随時	安曇野ちひろ美術館
地域・団体との提携による複製画展	各地の自治体、地域、団体との提携による、複製画展等の開催	各地の自治体、地域、団体等の求めに応じて、複製画展や関連の講演会を開催するとともに、絵本に親しむ機会を設け、読み聞かせ会等を実施する。	随時	両館
	希望する施設・団体・学校との提携による、平和のパネル展の開催	ちひろの平和への願いを伝えるために、平和の絵本2冊のパネルを、希望する施設・団体・学校に貸し出す。	随時	両館
病院との提携活動	季節ごとの病院院内展示・ワークショップの実施	来館が難しい患者やその家族を対象に、病院内での複製画展を行うとともに、絵本に親しむ機会を設け、求めに応じて、院内での読み聞かせ会、水彩技法体験ワークショップ等を実施する。(含むオンラインでの開催)	随時	東京女子医科大学病院、聖路加国際病院、長野県立こども病院、埼玉医科大学総合周産期母子医療センター、国立成育医療研究センター、同センター内子どもホスピス「もみじの家」、富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
オ 絵本等に関する国際交流				
海外における展覧会・講演会、ワークショップ	国内外に向けた紹介動画の作成・発信	当館の施設、展示内容などを多言語で案内する映像を作成し、オンラインで配信する。	随時	両館
	多言語によるオンラインイベントの配信	ギャラリートークやワークショップ、コレクションの紹介を多言語で行い、オンラインで配信する。	随時	両館
海外からの研修受入と交流	海外の絵本関係者の研修・交流	海外の絵本画家や編集者など絵本関係者を対象に、求めに応じて絵本に関する研修を受け入れる。あわせて地元の子もたちとの交際交流を行い、相互理解、絵本文化の普及・発展を促進する。(含むオンラインでの開催)	随時	両館
	アジアや世界の絵本関係者の視察・調査等の受入	世界初の絵本美術館として、アジアや世界の絵本の図書館、美術館関係者に、当館の展示や学芸的な経験、運営や理念等を紹介、共有すべく、視察の受入れを行う。(含むオンラインでの開催)	随時	両館
	館内情報の多言語化	さまざまな国からの来館者に対応すべく、館や展示の紹介等を多言語で理解できるよう、ツールを紹介、作成する。	随時	両館
海外の関係機関とのネットワーク	絵本と子どもの本の専門機関(IBBY、JBBY、絵本学会、AFCC)等との提携活動	絵本と子どもの本の国際的な専門機関であるIBBY (International Board on Books for Young People)やアジア子どものコンテンツフェスティバル(AFCC)、国内の専門機関であるJBBY、絵本学会、全国絵本ミュージアムネットワーク等との交流を深め、絵本文化の発展のための相互協力に努める。	随時	両館
	絵本美術館ネットワーク設立のための情報収集	国を超えた絵本美術館ネットワーク作りのために、調査を行い、情報交換を行っていく。	随時	両館
カ 絵本等に関する支援活動				
絵本の専門家への支援活動	絵本の研究者、絵本作家等への研究・創作支援	絵本の研究を目指す学生、専門家、また、絵本作家等の絵本の専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを精査した上で、当財団コレクションの絵本原画、絵本、資料を活かして研究や活動を支援していく。	随時	両館
	絵本美術館に関する研究者、専門家等への研究支援	絵本美術館について学ぶ学生や専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを精査した上で、当財団の絵本専門美術館の設置・運営に関する経験と実績、資料を活かした研究や活動を支援していく	随時	両館
展覧会鑑賞者・絵本受容者への支援活動	鑑賞者のより深い作品・作家理解のための解説、ガイドブックの作成、並びに画集・複製画の紹介、頒布	鑑賞者が作品や作家に興味を持ち、理解を深めるための手助けとして、解説やガイドブック、ワークシート等を作成、配布するとともに、画集や複製画の紹介、頒布等を行い、それらを通して鑑賞を助ける。(含むオンラインでの配信)	随時	両館
	館内での絵本レファレンス、絵本紹介、読み聞かせ等への支援	絵本の問い合わせ等に随時対応する他、来館者を対象に、求めに応じて、絵本の紹介や、読み聞かせの方法等についてアドバイスを行う等、支援をしていく。(含むオンラインでの配信)	随時	両館
	地域の図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ等への支援	地域の保育園、幼稚園、学校、図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本を楽しめるよう支援していく。	随時	両館
	展覧会鑑賞のバリアフリー化	東京・安曇野ともに、日本語を母語としない方や、視覚・聴覚障害をお持ちの方を対象に、スマートフォンからの音声や文字情報による解説を多言語で提供し、利用者のニーズに応じていく。また、両館ともに、障害者手帳提示の方と介添え1名までは入館料を無料とするなど、様々なニーズを持つ来館者の展覧会鑑賞を支援するためのバリアフリー化を進める。	随時	両館
地域の子育て支援団体との提携活動	地域の子育て支援団体等と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ等への支援	地域の子育て支援団体やお母さん方のグループ等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本を楽しめるよう支援していく。(含むオンラインでの配信)	随時	両館
その他この法人の目的を達成するために必要な活動	ミュージアムショップの運営	来館者の展覧会鑑賞がより豊かなものとなるよう、ミュージアムショップの運営を行う。	通年	両館

収1